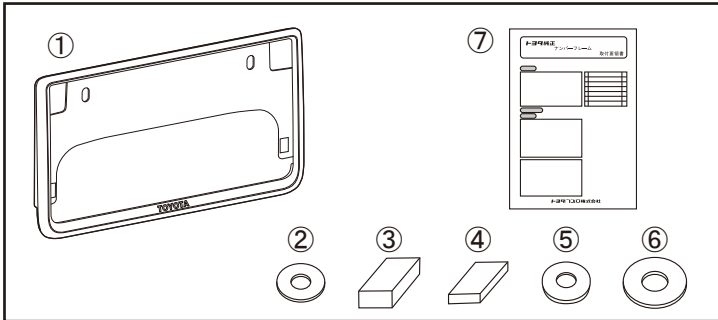


このたびはトヨタ純正「ナンバーフレーム」をお買い上げいただきありがとうございます。
本書は「ナンバーフレーム」の取り付け要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

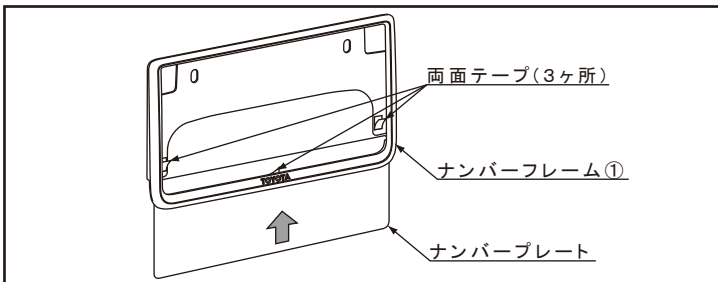
ロックボルトの取り付け等についてはロックボルトの取扱書を参照ください。

構成部品



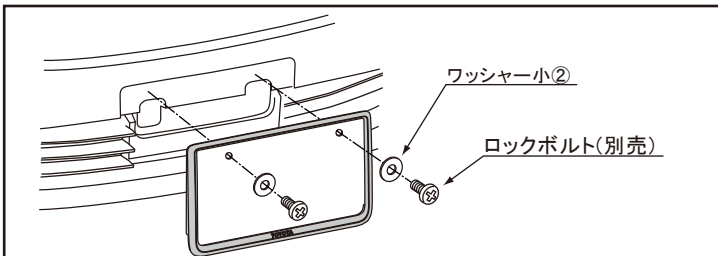
No.	品名	個数
①	ナンバーフレーム	1
②	ワッシャー小(Φ16)	2
③	クッションゴム	2
④	両面テープ	2
⑤	両面テープ	2
⑥	ワッシャー大(Φ19)	2
⑦	取付要領書	1

取り付け要領



1. ナンバープレートの組み付け

- (1) ナンバーフレーム①の両面テープの離型紙をはがす。(3ヶ所)
- (2) ナンバーフレーム①にナンバープレートを挿入する。
その際、ナンバープレート上端を奥まで突き当てるよう挿入する。
- (3) 両面テープを圧着する。(3ヶ所)



2. 車両への取り付け

I. フロント側取付方法

- (1) ナンバーフレーム①をロックボルト(別売)とワッシャー小②で車両に締め付ける。

バンパー側取付面の湾曲が大きい場合

ワッシャー大⑥に両面テープ⑤を貼り、車両取付穴に貼り付ける。
ナンバーフレーム①をロックボルト(別売)とワッシャー小②で車両に締め付ける。

- (2) ナンバーフレーム取り付け部周辺を叩き、以下を実施。

a. ビビリ音が発生する場合

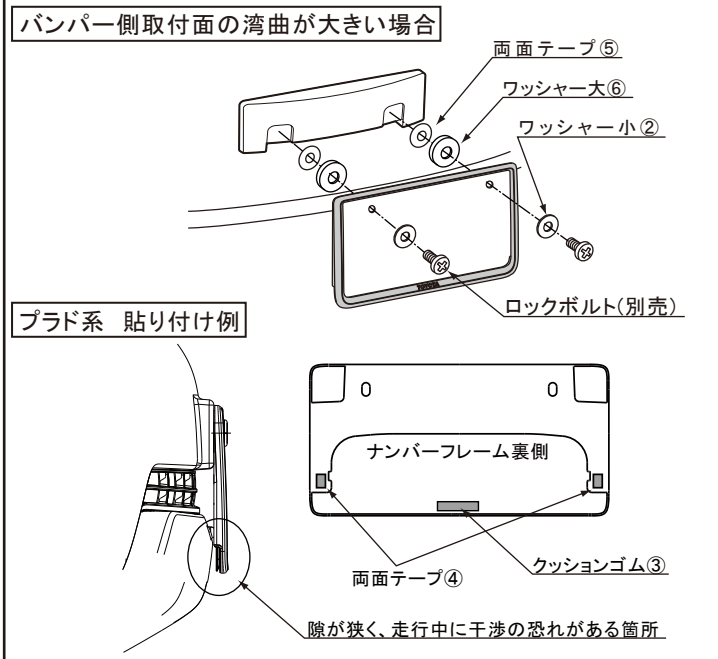
⇒ビビリ音発生部位を確認し、一度ナンバーフレームを取り外す。
発生部位に両面テープ④又はクッションゴム③を貼り付ける。

b. 車両とフレーム又はプレートが干渉する恐れがある場合

⇒干渉の恐れがある部位を確認し、両面テープ④又はクッションゴム③を貼り付ける。

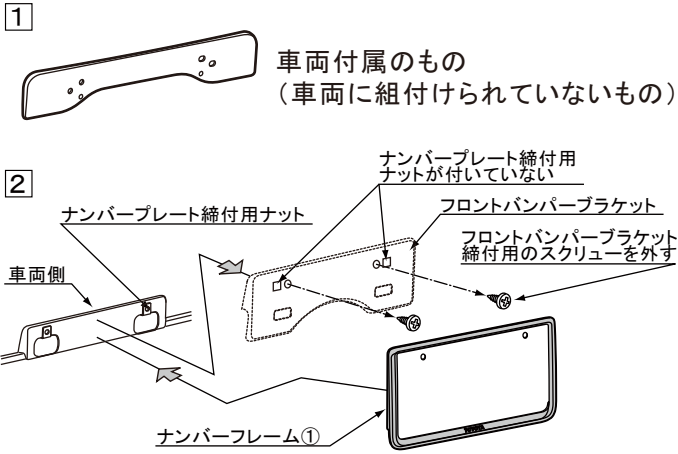
c. ビビリ音、車両干渉部位が不明確な場合

⇒p2の※1イラストの通り、両面テープ④又はクッションゴム③を貼り付ける。



※ブラド系のように車両との隙が狭いものに関して
走行中に車両側に傷がつく可能性があります。
左図のように干渉の恐れがある箇所に
両面テープとスポンジテープを貼り付けてください。

d.フロントバンパーブラケットが特殊な場合

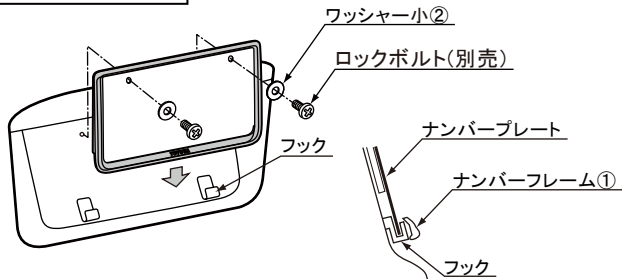


d.フロントバンパーブラケットが特殊な場合

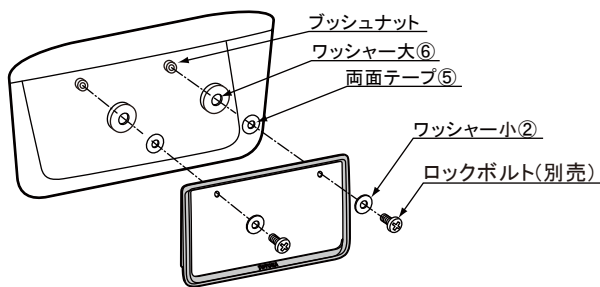
① 車両付属のフロントバンパーブラケット ⇒ 使用しない

② ナットの付いていないフロントバンパーブラケット
⇒取り外してからナンバーフレーム①を取り付ける。

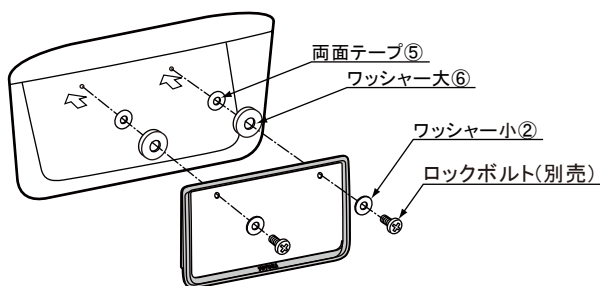
a.フック付きの場合



b.ブッシュナット付きの場合



c.バックガイドモニター等にナンバーフレームが当たる場合



II. リヤ側取付方法

(1) 車両取付構造により、下記要領に従って取り付ける。

a.フック付きの場合

ナンバーフレーム①とナンバープレートの間にフックを差し込み、ナンバーフレーム①をロックボルト(別売)とワッシャー小②で車両に締め付ける。

b.ブッシュナット付きの場合

ナンバーフレーム裏面に両面テープ⑤でワッシャー大⑥貼り付ける。
ナンバーフレーム①をロックボルト(別売)とワッシャー小②で締め付ける。

c.バックガイドモニター等がナンバーフレームに当たる場合

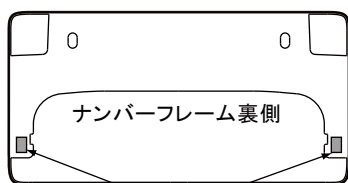
ワッシャー大⑥に両面テープ⑤を貼り、車両取付穴に貼り付ける。
ナンバーフレーム①をロックボルト(別売)とワッシャー小②で締め付ける。

d.上記以外の場合

ナンバーフレーム①をロックボルト(別売)とワッシャー小②で車両に締め付ける。

両面テープ貼り付け位置(当たり部が不明確の時)

※1.フロント側取り付け時も参考とする。



両面テープ④又はクッションゴム③

(2) ナンバーフレーム取り付け部周辺を叩き、以下を実施。

a.ビビリ音が発生する場合

⇒ビビリ音発生部位を確認し、一度ナンバーフレームを取り外す。
発生部位に両面テープ④又はクッションゴム③を貼り付ける。

b.車両とフレーム又はプレートが干渉する恐れがある場合

⇒干渉の恐れがある部位を確認し、両面テープ④又はクッションゴム③を貼り付ける。

c.ビビリ音、車両干渉部位が不明確な場合

⇒左記イラストの通り、両面テープ④又はクッションゴム③を貼り付ける。
必要に応じて重ね貼りする。